

いにし

題字：角川誠様

2012年3月号

第65号

あざい
リハビリテーション
クリニック

長浜市野瀬町828番地
TEL0749(76)8111

平成24年2月15日発行

認知症と人工栄養に関する 意向調査

中間報告

最近では、口から食べられなくなると胃瘻（腹部に穴をあけて直接胃に食事を送り込む為の通路）を作って栄養を補給する事が可能であり、そうすると口から食べられなくても長く生きることが可能です。しかし、認知症で口からものを食べられなくなるころには、判断力も低下し、意思表示がうまくできなくなっていることが多いのです。癌の末期に人工呼吸器を付けないのと同じように認知症の末期になって意思表示が出来なくなっているからの人工栄養はやめようとの意見があり、自分はそうしてほしくないと思表示されている方も沢山います。一方、家族の立場からの結論として人工栄養をしても生きてもらうことを選択される方がたくさんいらっしゃいます。

下記は去年9月～12月に、当院外来利用者を対象に意向調査を行いました。これまでに100名の方にご協力いただきました。

認知症の診断と告知

Q 認知症についての早期診断と告知を希望されますか。

診断と告知を希望しない

17%

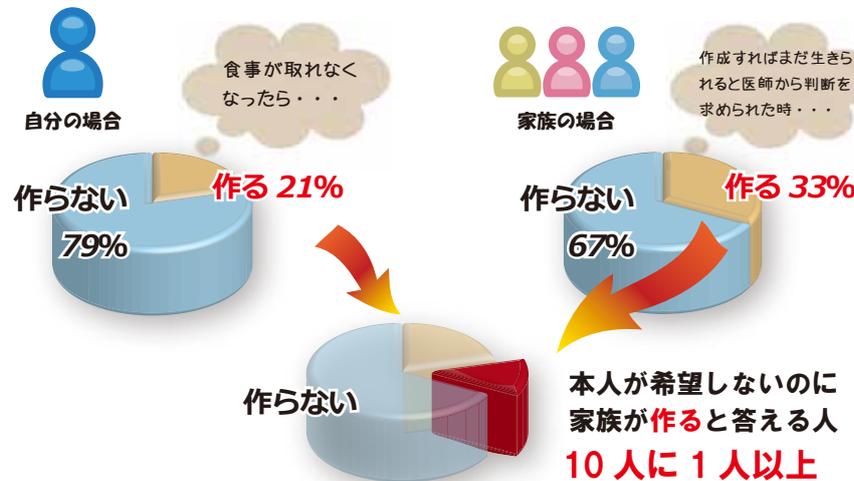


診断と告知を希望する

83%

胃瘻の作成

Q 認知症になり意思表示ができなくなった時、胃瘻の作成を希望されますか。



当院では、癌の告知と同様に、認知症に關しても早期診断をして告知を受け自分の将来のことを自分で考えることが出来るうちに考え、意思表示しておくことをお勧めしています。また胃瘻の作成については、本人と家族の希望にはギャップがあります。家族間で相談し理解を求めることが必要です。



お腹の超音波検査で「脂肪肝ですね」と言われたことがある方も多いかと思ひます。肝臓に脂肪がたまってしまふこの病氣、血液検査で肝臓の酵素が高くなっているパターンと、数値は正常で超音波でだけわかるパターンがあり、それぞれ人口の3%と16%いとされています。放置すると肝硬変や肝臓癌になる可能性があり、一方で心筋梗塞なども関連してくるこの脂肪肝ですが、これまでの研究ではあまり死亡率を上げないとされてきました。今回発表された研究は、20～74歳の脂肪肝の患者11000人を平均で14・5年間にわたり追跡調査を行ったものですが、血液検査で肝臓の酵素が上がっているパターンもそうでない場合でも、やはり死亡率は上がらないことが確認されました。治療しなくて良い、というわけではないのですがゆっくりとした治療が良いということのようです。また、アルコール性の脂肪肝やウイルス性の肝炎はきちんとした治療が必要ですので必ず受診するようにして下さい。

医者が教える
健康あれこれ

【脂肪肝は死亡率を上げるか？】

クリニックからのお知らせ

感染症（インフルエンザ・ノロウイルス等）の疑いの方

お越しになる前にまずお電話ください。

当院では待合室での患者さんから患者さんへの感染を防ぐため、以下感染症の疑いがある方には、電話受付で対応しております。

- 体温が37度以上若しくはご自分の平熱より高い方
- 熱が無くても、嘔吐、下痢、咳のある方

1. お越しになる前にまずクリニックへお電話ください。

☎：76-8111 看護師が電話で症状をお伺いします。

その時ご自宅から当院までの所要時間もお知らせください。

2. 後ほど外来の診察順番に合わせお越しいただくようご連絡致します。
3. クリニックへお越しの際は必ずマスク着用をお願いします。
4. 到着時、診察中の患者さんの診察が終わり次第診察させていただきます。

※電話予約なしで直接来られた場合は自家用車内若しくは一時帰宅で順番を待っていただく事をご了承ください。

お詫びと訂正

先月発行の「日草」（新年特別合併号）におきまして、下記の通り一部誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

■A3紙3面上部タイトル

誤) 院長に松井義典先生、副院長に宮地純一郎先生着任決定

正) 院長に松井善典先生、副院長に宮地純一郎先生着任決定

■当院送迎車について

日草1月号での笹岡施設長のあいさつ文で「送迎バスがこの3月中止になる」と受け取られた方がたくさんいらっしゃるとのことです。

現在の送迎システムを中止することは全く考えておりませんのでご安心ください。

誤解を生じる表現で大変申し訳ありませんでした。

笹岡施設長の文章は昨年定時巡回バスの運行を中止したことにに関して、皆様にご迷惑をおかけしたとの思いを伝えたかったものであり、今後のことを言ったものではありません。

今後送迎に関しましては、もう少しきめの細かいサービスができればと検討しているところです。

送迎サービスにつきご意見を頂ければ幸いです。

内科外来

	午前	午後
月	畑 9:00~12:00	畑 5:00~7:00
火	畑 9:00~12:00	畑 5:00~7:00
水	畑 9:00~12:00	畑 5:00~7:00
木	畑 9:00~12:00	下島 4:00~7:00
金	岡崎 9:00~12:00	岡崎 4:00~7:00
土	岡崎 9:00~12:00	交替制 3:00~6:00
日	交替制 10:00~13:00	

3月の内科休診日

祝祭日、整形外科診療日の午前は休診
内科休診日：3/20（火・祝）終日
3/27（火）午前休診
*発熱・急患は対応いたします。

歯科外来（予約制）

休診日 火曜日/金曜日/祝日

診療時間は内科と同じです。

※ 初診・急患は随時受け付けます。

皮膚科外来

毎週木曜日 午後4時~7時

神経内科外来

月1回土曜日午後と日曜日外来

3/3（土）3/4（日）

★3月いっぱい終了いたします。

整形外科外来（予約制）

3/27（火）、3/28（水）9時~12時

眼科外来（予約制）

3/3（土）、3/31（土）9時30分~12時

リレーエッセイ



堀田 幸菜

で日に日に体が動かなくなるのを見てつらく思い、何か私にできることはないかとリハビリの仕事に興味を持ちました。

今では同居している祖父も介護が必要になり、これまで学んできたこと、経験してきたことを活かし、どうにか元気になってもらおうと試行錯誤しています。

一年前では何をすることも気がなく寝たきりだった祖父が、最近ではお箸を使って一人でご飯を食べたり、支えながらトイレまで歩いたり家族も驚くほどの回復を見せてくれます。仕事に行く前や帰った時に祖父の部屋に寄ると、とびっきりの笑顔で声をかけてくれ、逆に私が元気をもらっている気がします。

今後も仕事で学んだことを家で活かし、祖父から学んでいることを今後のリハビリに活かしていきたいと思っています。



遠足

たまにはいろいろ庵以外のところへ出向き、食事をして頂きたいという想いで今回、外食と紅葉ドライブを企画しました。11月20日(日)当日はあいにくの雨でしたが、久しぶりの外出に胸を高鳴らせ目を輝かせておられました。行きの車内では外の紅葉を見られる方や職員の話に耳を傾け笑われる方、「まだ着かんのか」と到着を心待ちにされる方で賑わい、あっという間に目的地である「ローザンベリー多和田(道の駅)」に到着しました。

着いた頃には雨も上がっており集合写真を撮ったり撮る事が出来ました。やはりいろいろ庵の利用者様はこぞという時には強い強運の持ち主の方ばかりだと改めて感じさせられました。写真撮影の後、待ちに待ったお食事の時間です。この



日の食事はバイキングスタイル。一時間という時間の中で思い思いの食事を楽しまれた利用者様。普段の倍食べられ良い笑顔を見せて下さいます。利用者様と一緒にワイワイ言いながら食べるご飯は実に美味しく、素敵な笑顔に出会えて嬉しく思います。又、皆様と一緒に日を楽しみにしています。

クリスマス会
(家族会)



グループホームいろいろ庵では毎年12月にクリスマス会と題して家族会を開催しております。この会は、普段お世話になっていらっしゃるご家族の皆様にも少しお返しをしたいという想いと中々ゆっくり話す事が出来ない利用者様との時間を提供し楽し



い一時を過ごして頂きたい、又、ご家族様同士との交流の場にして頂きたいという想いがありません。今年も例年より多くのご家族様にお越しいただきました。また日頃より畑で作った新鮮な野菜を提供して下さる近所の方もご参加くださり、職員をはじめ皆さん大喜びでした。当日は、利用者様にもお手伝い頂きながら作った7品程の料理と手作りケーキ、ジュースなどをバイキングスタイルにしてご家族様より好きな物を取って頂きました。最後には、職員とじゃんけんゲームをして勝たれた利用者様にささやかなプレゼントを送りました。と言っても実は全員分用意していたのですが・・・職員に勝たれる度に「おー」と歓声が上がりがりでした。24年度も利用者様にとって居心地の良い環境、安心して暮らす家を提供し続けていけるよう日々精進し、皆様の笑顔に会えるこの会を続けて行きたいと思っております。

認知症を知ろう!

認知症への対応について

認知症にともなう様々な症状が現れます。しかも、周囲の理解や対応の仕方、症状が軽くなったりひどくなったりします。ですから、周囲の方々が認知症の特徴を理解し、それに合わせた対応をすることが大切になります。

まず、様々な症状は認知症という病気のためだと理解することが大切です。何度でも同じことを訊いたり、自分の過ちを認めなかったりすることも、自分のしたことや言われたことをすぐに忘れてしまったことや言われたことをすぐに忘れてしまったために起こります。その為、繰り返し説明しても改善することが難しいです。失敗を指摘したり怒ったりすると不安になったり興奮したりします。事実かどうかは別にして、どう言ったら本人が納得してくれるかを考えるとうまく行くことが多いです。

そうはいっても24時間ずっと付き合うのは難しいので、時にはデイサービスやヘルパーに任せて、患者さんと介護者が別々の時間を持つことも大切であり、介護を長く続ける秘訣です。

通所リハビリ

からの お便り



通所リハビリ（デイケア）では、日常生活動作を円滑に行なう事ができ、イキイキと人生を過ごしていただけるにはどうしたら良いのか、何が大切なのかを常に考えて利用者様を支援させて頂いております。

個人の身体・心身状態を把握し、今自身でできる事（残存能力）の維持・低下の防止・向上を図るため、専門職（看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護師）が連携を取り利用者様個々に向き合い取り組んでおります。

利用者様が安心感を持ち安全・安楽に1日を過ごしていただけるよう、入浴（身体の清潔を維持・皮

膚状態の観察等）・食事（誤嚥の防止・水分の摂取状況等）・排泄（排便、排尿の状態観察等）のお手伝いはもとより、ボランティア様のお力をお借りしレクリエーションで楽しい場を提供して参ります。毎日を穏やかに、楽しく、ゆったりと「自分らしく」暮らせるように「おもてなしの心」を持って利用者様をお迎えします。



ボランティア通信

早いものでボランティア通信が始まってから5ヶ月が経ちました。募集しているボランティアさんも1月末時点で10名を超えました！！

月に1度の方、週に1度の方、不定期に来て下さる方など、増えてきました。とてもありがたいことです。

みなさん、利用者様と楽しそうにお話をしたり、お昼時のおしぼり配り、コップ洗いなど、いろいろな事に協力していただいております。まだまだボランティア募集は続けておりますので、興味ある方は一度ご連絡下さい。お待ちしております。

ボランティア募集

同世代の仲間との交流の機会を持ち 社会貢献も果たすことができ、認知症の予防にも...

もっと **いきいき** とした生活を送ろう。

活動内容

掃除をする。
洗濯をする。
お茶を入れる。
話し相手になる。
野菜を作る。
力仕事のお手伝い。
などなど

活動すると

4時間以上の方には
お食事提供あり。

いろいろな企画に
優先的に参加できます。

活動内容、時間等は担当者と面談の上決定いたします。受付にお申し込みください。

編集後記

1日はあいさつ（おはようございます）で始まりあいさつ（おやすみなさい）で終わります。

あいさつを漢字で書くと『挨拶』となります。

『挨』には「開く」、『拶』には「迫（せま）る」という意味があるそうです。自分から相手に対して心を開き、相手に近づく（迫る）ことは人間関係を円滑に運ぶためのスタートライン（出発点）であると言えるでしょう。

1日の生活の中でそれぞれの場面に合った言葉、声の調子、表情、お辞儀の仕方など心を込めた『あいさつ』に心掛けて1日を気持ち良く過ごしたいと思えます。（岸江）

在宅ケアを支える職員を募集しています

- 看護師
 - リハビリスタッフ（OT、PT、ST）
 - 介護職（夜勤可能な方、常勤登用あり）
- 利用者宅への訪問医療（看護、リハビリ）と通所リハ、短期入所ケアを組み合わせて利用者様が住み慣れた地域と我が家で最期まで安心して過ごしていけるよう支援していきます。
- （体験研修、施設見学は随時受け付けます。）
☎連絡は0749-76-8111まで

☆「日日報」購読ご希望の方へ、郵送料を「負担頂けば、郵送させて頂きます。」